

私の好きな、一篇。

掌編自分史作品集「はじめまして」を2023年3月に刊行。
35篇の中から、愛知県春日井市内で古本屋を営む若夫婦が、それぞれオススメの一篇を紹介。

あなたも体験したこと、あるかも!? 01

うにの軍艦

作・森村カエリ (東京都・20代)

古本屋かえりみち
池田望未さんが選んだ一篇

現在28歳の望未さん。JR中央線・勝川駅近くの古民家シェアハウスTANEYA2階に、2022年古本屋かえりみちをオープン。前職は「子どもの本専門店メリーゴーランド」店員。芸芸担当。



苦労や悩みも多い中で「大人になれてよかった」と思えるのは、幼いころにはわからなかった食べ物、美味しさに気づけたとき。食わず嫌いしていたものが、嘘みたいに舌になじむ喜びを覚えてからは、私自身、人生を後戻りできない気持ちになっています。そんな、誰もが一度は体験するであろう瞬間を描いたのが『うにの軍艦』。しかし、苦手だったうにを美味しく感じたときの一節には、森村さんの感性が力強く光ります。

「案外、大人というのも悪くないものだなと、このくそがきを素直に納得させてしまったのである」

いささか自嘲的に、けれど確かに「大人になった自分」を意識し、喜んでいいる。「自分の歴史」の中から抽出された「この瞬間の私」が、飾られることなく素直に描かれます。悔しいような嬉しいような気持ちでうにを頬張る森村さんの姿を、頭の中で見つめながら、自然と、自分にとっての「あの瞬間」とも重なり、追憶の愉しみを味わうことができました。

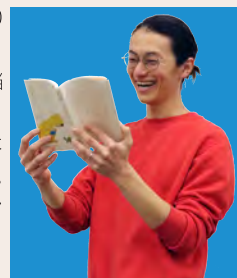
仕事に対する“姿勢”がステキ♡ 02

チャイムを押すのは最後まで苦手だったけれど…

作・望月ひろこ (愛知県・70代)

古本屋かえりみち
池田育望さんが選んだ一篇

育望さんは現在30歳。元小学校教員で、特別支援学級を担当していた。現在は、妻・望未さんと古本屋かえりみちを運営。出張販売やワークショップも行う傍ら、選書は芸芸担当。



モニターとか会員とか、正直言って苦手な言葉だ。家にいるときにインターホンが急に鳴るのも好きではない。休みの日ならなおさらだ。

訪問販売にも良い印象はなかった。営業の方の独特で軽妙な語り口に、偏見を少なからずもっていた。しかし、望月さんの文章の軽快な展開の中に、人間らしい素直な感情が細かく描写されていて驚いた。玄関の外では葛藤や悩みなんかがあるのだと知った。気持ちよく読み進めているうちに、訪問販売のイメージは一変した。思わぬ展開でこの仕事に就いたところから、責任を持ってまじめに取り組み、やりがいを得ながら仕事を楽しむ。この望月さんの姿勢が大切なんだよなあと気付かされた。その姿勢をもって働きたいと思う人は私以外にもたくさんいるんじゃないだろうか。

普段、そんなに冷たくあしらうことはしない夕子ではあるが、より思いやりをもって、さらには優しさをもちながらも、毅然と対応させていただこうと思う。

掌編自分史作品集 2023年3月刊行!

第20回掌編自分史作品集

「はじめまして」

2022年6月に公募、全国から寄せられた「はじめまして」にまつわる165の自分史作品から、選りすぐりの35作品を収録。

2023年3月刊 / 定価1,000円(税込) / 184頁 / 四六判並製



掌編自分史とは?

掌編とは「手のひらサイズの短い作品」のこと。『日本自分史センター』を運営する、かすがい市民文化財団では、毎年異なるテーマで短編の自分史を募集しています。優秀作品を「今、ぜひ読んでほしい」自分史作品として作品集にまとめ、発刊を重ねています。



私の好きな、一篇。

掌編自分史作品集に携わってきた、グラフィックデザイナーが選ぶ一篇。
現役高校教諭が35篇の中から選んだ一篇とは？ 掌編自分史作品集「はじめまして」刊行！

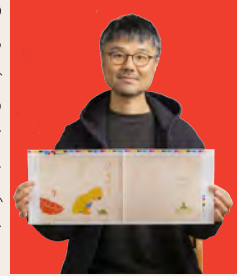
ピンチの時に、何ができる!? 03

先生との出会い

作・浅野憲治（愛知県・70代）

グラフィックデザイナー
小島邦康さんが選んだ一篇

小島さんは第17回の掌編自分史公募からチラシや表紙を手掛けてくださる40代のデザイナー。「制作していた時には想像もしなかった面白い作品ばかり。しっかり読ませていただきました！」



様々な人生を抱えた見知らぬ人々が偶然乗り合わせ交差する電車は、時に平凡な日常を映画のように変えてしまう舞台装置となります。
高校一年の浅野さんは毎朝の満員電車に耐えられず登校拒否症に。泣きながら通学するある日、吊革にしがみ付き絶望に耐えていると、棚網に置いた自分のカバンから弁当の汁がポタリポタリと目の前に座ってうたた寝する背広の紳士の肩に……。待ったなしで走る電車と滴り続ける弁当の汁が砂時計のように決断を迫る。浅野さんの運命やいかに！
不幸な時にかぎって不幸が重なることがあります。ただけどそんな人生どん底、ピンチの時にこそ、やけにならずにいかに踏ん張ることができるか。その時の行動しだいで運命のレールの分岐点がガッチャンと変わるのかもしれない。
そしてやっぱり神様は正直者に優しい。クリーニング代だけでなく、金の斧も銀の斧も与えてくれたりするものなのです。

10代のエネルギッシュな感性! 04

脱皮

作・東雲あずさ（広島県・10代）

春日井高等学校 教諭（図書部主任）
霜鳥 誠さんが選んだ一篇

霜鳥先生は教諭15年目の30代。大学では日本文化を専攻し、高校教諭として主に現代文を担当。最近では歌集を読むことが多く、おススメは歌人・木下龍也『あなたのための短歌集』。



十代の東雲さんが書く自分史は、過去への悲哀ではなく、未来志向でエネルギッシュ。自身の成長譚でもあることがタイトルから伺えます。
高校時代に本を通して出会った哲學家・シモーヌ・ド・ボエヴォワールは、東雲さんにとって、女性としての生き方に迷った時の、同志であり相談相手。倫理学の虜になり、目的を持って大学を志すプロセスは、理想的だと感じました。
「英雄との出会いが、今の私の生きがいにつながっている」と東雲さんは締めくくりますが、この物語の主人公は間違いなく東雲さん本人です。主人公は今、社会の歴史を真正面から捉え、ボエヴォワールの遺した言葉の本質に迫ってゆく段階にあります。闘志を燃やしたり、腹を立てたりしているけれど、ひたむきに突き進む主人公を心から応援したい。
幸せや自由を追い求めて行く権利は誰にでもあるということを改めて教えてくれる一篇。ピュンと風が吹くような、壮快感に満ち溢れています。

掌編自分史作品集 2023年3月刊行!



購入方法

A 店舗・オンラインショップ

※他店舗での取り扱いが増えましたら、HPでご案内します

・文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター（春日井市鳥居松町5-44）

営業時間9:30~17:15 月曜休（祝休日の場合は翌平日） <https://kasugai-bunka.stores.jp>

・古本屋かえりみち（春日井市旭町1-II TANEYA2階）

営業時間11:00~19:00 月曜休 <https://kaerimichi-furuhon.stores.jp>

B 代金引換での購入

FAX(0568-82-0213) またはメール(stores@kasugai-bunka.jp)にてご注文ください。

左記を必ずご記載ください。①件名：掌編自分史作品集注文 ②お名前（掲載者の場合は筆名も）

③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥作品集のタイトル ⑦ご注文冊数



公益財団法人